

Vol.09
平成25年2月発行

肝属中部 畑かんだより



【編集事務局】
肝属中部地域
畑地かんがい営農推進本部
(県大隅地域振興局農政普及課内)
〒893-0011
鹿屋市打馬2丁目16-6
TEL : 0994-52-2138
FAX : 0994-52-2147

(肝属中部畑かん推進キャッチフレーズ)

『台地に畑かん・潤う農業』



肝属中部土地改良区総代当選証付与式

- 肝属中部土地改良区設立総代会を開催…………… 2
- 国営肝属中部畑地かんがい事業の進捗状況について…………… 3
- 県営畑地かんがい事業へのご理解とご協力をお願い…………… 4
- 畑地かんがい営農推進について
 - 鹿屋市営農推進部会…………… 5
 - 肝属中部畑かん吾平地区営農推進部会…………… 6
 - 肝付町畑かん営農部会…………… 7
- 情報提供
 - 農業まつりアンケート結果について…………… 8

肝属中部土地改良区設立総代会を開催

かねて設立準備中であった肝属中部土地改良区が、平成 24 年 8 月 16 日に県からの設立認可を受け、11 月 14 日に第 1 回総代会を肝付町の農林業体験交流センター「高山やぶさめ館」で開催しました。

総代会は、10 月 9 日に実施された総代選挙（無投票）で選ばれた 45 名の総代と役員 15 名が出席し、定款や維持管理計画の報告、規約や予算、役員の選任投票などが提案、議決されました。

そして、12 月 10 日には第 1 回理事会が開催され、新理事長に永野和行肝付町長が互選されました。



柳前理事長あいさつ（総代会）



嶋田鹿屋市長あいさつ（祝賀会）

◆肝属中部土地改良区について

肝属中部土地改良区の主な業務は、現在事業進行中である荒瀬ダムを貯水池とする肝属中部畑地かんがい事業で整備したダムや揚水機場、地中に埋設された水道管などの施設を管理する業務に当たります。

肝属中部土地改良区の事務局は、当面の間肝付町役場農業振興課内におかれ、平成 28 年度からの通水開始までの間は、各種規程等の整備を主に行います。

【最後に】

肝属中部畑地かんがい事業により、受益地区内の畑地へ安定的な水の供給が行われ、品質の良い農作物の生産や水を利用した施設野菜などの収益性の高い農作物の導入が可能となり、農業生産性の向上と農業経営の安定合理化が図られることとなります。

大隅半島が日本の食料基地としてその能力を発揮するためには、肝属中部地区における畑地かんがいを利用した農業の発展は必要不可欠です。今後も受益者の水利用への理解促進等について、肝属中部土地改良区と関係機関が一体となって取り組んでいきます。

【紹介】 肝属中部土地改良区 TEL 0994-65-8417（肝付町役場農業振興課内）

『台地に畑かん・潤う農業』

国営肝属中部畑地かんがい事業の進捗状況について

肝属中部畑地かんがい事業は、①荒瀬ダムを築造し、②パイプラインを地中に敷設して鹿屋市（旧鹿屋市，旧吾平町）と肝付町（旧高山町）に広がる 1,537ha の畑地帯に水を送る事業です。また、パイプラインの途中には、水を一時貯めるための③ファームポンド（貯水タンク）を建設します。農業水利施設が整備され、農業用水を適時適切に利用できる営農環境が整うことで、肝属中部地区の農業生産性の向上と農業経営の安定が図られます。

① 荒瀬ダムの施工状況

荒瀬ダムでは、平成 24 年から築堤工事に着手し、同年 10 月には定礎式を行いました。現在、築堤作業を本格的に実施しているところで、大型の重機が多数稼働するダム工事の最盛期に入っています。

また、ダムの放流口付近では、ダム放流水を活用して発電するための小水力発電施設の建設を進めています。



荒瀬ダムの工事状況

② パイプラインの施工状況

パイプライン工事は昨年度までに約 24km の施工を終えております。本年度は、肝付町を中心に約 1km の工事を進めております。パイプラインの工事は来年度以降、鹿屋市を中心として進めていく予定です。

③ ファームポンドの施工状況

肝属中部地区では、4箇所、6基のファームポンドの建設を予定しています。昨年3月には、愛宕山第1ファームポンドが完成し、既に完成している稲荷山ファームポンドとあわせて2基のファームポンドの建設を終えました。

今年は、愛宕山第2ファームポンドの工事や肝付ファームポンドを建設する敷地の造成工事に着手しました。



愛宕山第2ファームポンドの敷地工事の様子

今後とも、地域の農業の発展に貢献するために、早期の工事完成に努めてまいりますので、事業への御理解とご協力をお願いいたします。

県営畑地かんがい事業へのご理解とご協力のお願い ～肝属地域農業の飛躍に向けて～

県営事業で行う農業用水管の埋設工事は、平成 24 年度から「鹿屋市下堀，田淵，横山」で始まり，約 140ha 分の工事が完了しました。平成 25 年度は「鹿屋市吾平町上名」で管水路埋設工事を予定しています。皆様のご理解，ご協力をお願いします。

農業用水管工事の流れ



県営事業は受益者のうち 3 分の 2 以上の同意を得て事業採択されます。

事業採択後 1 年目は主に実施設計を行います。その後工事説明会を開催し，工事の内容や工事期間，立会のお願い等について説明を行います。



まずは説明会に参加して疑問や心配事を尋ねてみましょう！



そうか！給水栓をつけないともったいないな！



工事は主に事業採択後 2 年目から実施されますが，地権者の方には，将来設置する給水栓（取水蛇口）の設置予定位置をご確認いただいたうえでを行います。（写真は位置確認立会状況）



給水栓設置にかかる工事負担はありません。



ここならジャマにならないよ。



管水路埋設工事期間中は，通行止め等の交通規制が行われます。

ご不便をおかけしますが，ご理解，ご協力をお願いします。



ご協力お願いいたします

農業用水管の工事と併せて周辺の農道や排水路もいっしょに整備するのでみんな便利になりますよ！

畑地かんがい営農推進について

鹿屋市営農推進部会

◆畑地かんがい実証ほの取り組み成果

【実証課題名】
は種後のかん水が発芽率に与える影響

【実証のねらい】
「新ごぼう」は、は種後のかん水による発芽率が向上し計画的な作付けができ、早掘り加工用甘しょとの輪作による土地の有効活用が可能となることから、モデル地区（下堀）における「新ごぼう」のかん水と発芽率の関係について実証した。

【実証の成果】

- ・は種後の9月10日～11日にかけて、15～30mm/10aのかん水を実施。
- ・発芽が揃った9月26日以降に発芽率調査を実施（調査結果は右記のとおり）
- ・**播種後のかん水が発芽に与える影響が極めて高いことが確認できました。**

区 分	発芽率
かん水あり ①	93.0%
// ②	92.6%
かん水なし ①	46.9%
// ②	69.6%
(参考) 吾平かん水あり	91.2%

【考察】
今後ともモデル地区（下堀）を中心に産地化を進めるとともに、平成25年度以降は、今後通水が予定されている地域において「実証ほ」を設置し、「畑かんを利用した営農体系の確立」に向け普及に取り組んでまいります。



簡易散水装置によるかん水



新ごぼう生育状況

◆新ごぼう実証ほの合同現地検討会を開催

鹿屋市下堀地区及び吾平町角野地区に設置されているモデル団地にて水利用実証に取り組んでいる「新ごぼう」実証について、12月20日に両モデル団地合同での現地検討会を開催しました。

当日出席した生産者は、各団地の実証ほ場の現地研修及び意見交換を通じ、新ごぼうの水利用効果及び規模拡大等について理解を深めました。



【紹介】 鹿屋市農林商工部農政水産課 Tel 0994-31-1117

肝属中部畑かん吾平地区営農推進部会

◆畑地かんがい実証ほの取り組み成果

【実証課題名】

さつまいも「紅さつま」と「にんにく」による輪作体系の確立

【実証のねらい】

作付期間の短い「加工，青果用さつまいも」の推進を図るとともに，その裏作として「にんにく」を選定し，発芽対策として畑かんを利用した輪作体系を確立し，広く普及を図ります。

【実証の成果】

- ・ にんにく定植後（10月15日），直ちにスミレインによりかん水（10mm/10a）を実施。
- ・ **10月22日（定植後7日目）には発芽が揃い始め，右表のとおりかん水による発芽率が確認**できました。

調査日	発芽率
11月1日 (定植後17日目)	93.9%
11月28日 (定植後44日目)	99.6%



スミレインによるかん水



定植後 44 日目の生育状況

◆畑かん器具実演会を開催

9月28日，角野モデル団地に設置している新ごぼう実証ほにて，新ごぼう生産者及び団地耕作者を対象に畑かん器具実演会を開催し，畑かん器具の有効性について紹介を行いました。

参加者は，JA肝付吾平町及びメーカー担当者からの畑かん器具の使用方法やかん水効果の説明を受け，畑かん器具の活用や畑かん利用への理解を深めました。



ロールカーによる実演

【紹介】 鹿屋市吾平総合支所産業建設課 Tel 0994-58-7257

『台地に畑かん・潤う農業』

肝付町畑かん営農部会

◆畑地かんがい実証ほの取り組み成果

【実証課題名】

露地しょうがの水利用実証

【実証のねらい】

本町における露地しょうが栽培の適性確認と水利用の効果確認実証を行います。

【実証の成果】

- ・ かん水区において 10a 当たり 5,400kg の収量が得られた。
- ・ しょうがの一部に病気が入ったことから、かん水実施区と無かん水区との収量比較が出来ませんでした。

【考察】

今年度の実証で把握した栽培及び生育データ等を踏まえ、本町におけるしょうがの産地育成について検討していきます。



かん水状況（定植後）



生育状況（収穫時）

◆さつまいも植付機械化検討会を開催

5月23日に、畑地かんがい用水の一部通水を見据えて、生産農家・関係者を対象に甘藷生産における散水器具の利用方法及び甘藷苗植付機の実演会を開催しました。

約60名の参加者は、散水器具及び植付機メーカー担当者からの器具等の紹介や操作方法の説明・実演を通じて、甘藷生産の水利用や作業省力化について理解を深めました。

なお、3月には甘藷育苗におけるかん水器具の実演会を開催します。



情報提供

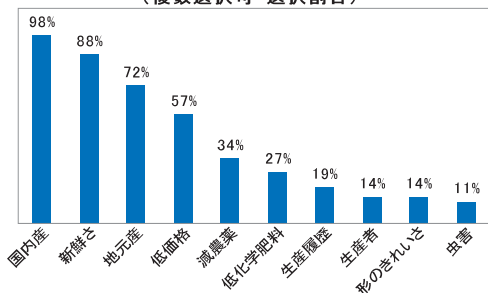
農業まつりアンケート結果について

本年度も恒例の農業まつりが受益地区である鹿屋市，肝付町で開催され，肝属中部農業水利事業所も畑かんブースを設置し，パネル，荒瀬ダムジオラマ，小水力発電模型を展示し，訪れた 458 名の方にアンケートにお答えいただきましたのでその一部をご紹介します。

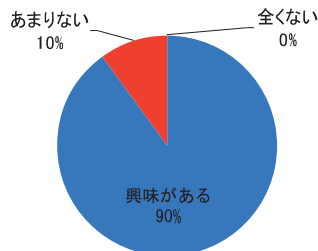


鹿屋市農業まつりの様子

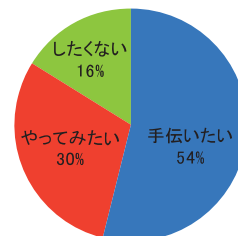
②農産物の購入で重視していることは何か。
(複数選択可・選択割合)



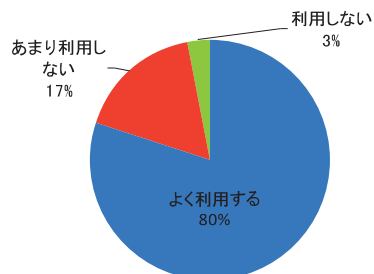
①農産物の安心・安全について興味があるか。



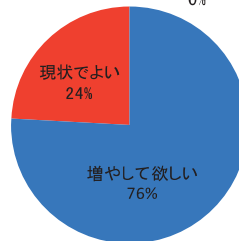
③農業をやってみたい(手伝いたい)か。
【農家以外の方に伺いました。】



④農産物直売所、直売コーナーをよく利用するか。



⑤農産物直売所、直売コーナーがもっと増えた方がよいか。
減らした方がよい



- 農家の方に何を作ってみたいか伺いました。
花・ニラ・野菜・トマト・じゃがいも・ズッキーニ・しょうが・きゅうり他
- 農家以外の方に何を生産して欲しいか伺いました。
子供が安心して食べられるもの・オリジナルの商品・果樹・ごぼう・きのこ類等
- その他ご意見を伺いました。
 - ・安全でおいしい物が一番。
 - ・食の安全が気になります。
 - ・農業がもっと発展すると良いです。
 - ・ダムなどのことを詳しく知れて良かった。
 - ・畑かんを利用した農産物の生産推進をみんなで考えましょう。
 - ・おいしい農産物ありがとうございます。また購入しますね。
 - ・現在家庭菜園で野菜作りをしています。農家の苦勞身にしています。

当日アンケート回答いただきました皆様、貴重なご意見ありがとうございました。

【紹介】 農林水産省九州農政局肝属中部農業水利事業所 Tel 0994-40-9033

『台地に畑かん・潤う農業』